



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

2022年12月号

成長を感じて



◆6年生が修学旅行に行ってきました。6年生にとっては初めての宿泊学習。友達と一緒に泊まる楽しみ、グループ行動の緊張感と開放感。自立心と自律心が試されます。今回は夜空をながめたり夜景を楽しんだりする時間もあり、ワクワクしていました。また、格調高い雰囲気でのテーブルマナーや寄木細工作りの体験、鎌倉小町通りや横浜中華街の賑わった場所でのグループ行動など、楽しみながらも時間を守った行動ができました。各部屋の整理も手際よくきれいでした。何より元気に2泊3日を過ごせました。立派な6年生です。

◆合唱部が全日本合唱連盟主催の全国大会に出場しました。昼休みや放課後、厳しい練習を重ねました。会場は広くて音響の素晴らしいホールでした。全国レベルの出場校の歌声は伸びやかで美しくさすがでしたが、本校の歌声も澄みきって、

→引けは取りませんでした。銅賞をいただきました。

帰りの新幹線での児童の一言「明日から昼休みの練習がないと思うと何をしたらいいかわからない。自主練しようかな。」

一所懸命だったのですね。何かに夢中になるのは良いことです。貴重な経験となりました。

◆方面別の縦割りグループに分かれ、秋祭り集会と集団下校を行いました。音楽に合わせて体を動かしたり工作をしたりして親睦を深めました。下校時、JRの遅延がありましたが、5、6年生が低学年の子どもたちをまとめている様子も見られ、頼もしく感じました。

◆芸術鑑賞教室で東京パノラマパーカッションによる打楽器コンサートを鑑賞しました。体いっぱいリズムを感じ、心を解放し、音楽を楽しみました。体も心も踊る素敵なひとときでした。



ドキドキ 調理実習

5年生は“味噌汁”を作りました。煮干しでだしをとり、大根、油揚げ、ねぎを切り、ガスに火を点けて…。皆で作った味噌汁は、格別な味だったことでしょう。

6年生は“炒めるおかず”を作りました。野菜を丁寧に洗い、ベーコンと一緒に炒めました。美味しいにおいが廊下から漂ってきて他の児童はうらやましそうでした。

コロナ禍で、今まで調理実習は中止していましたが、消毒などの対策を行って実施することができました。お家でも作ってみてくださいね。

今月の目標

「新型コロナウイルスに感染しないように、健康に気をつけましょう」

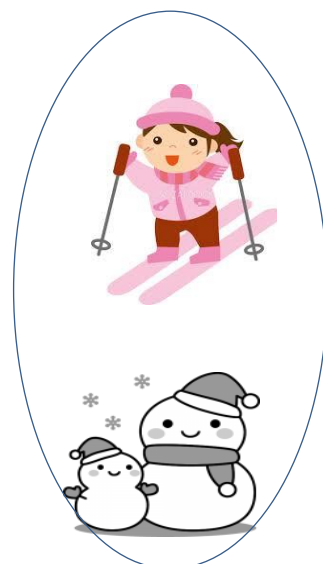
「進んで仕事をし、後始末をしっかりやりましょう」

12月行事予定



- 1日 火曜時程
- 2日 成道会(放送)
- 3日 振替休業(11/26分)
- 5～9日 寒天鍛錬
- 6日 クラブ
- 9日 委員会・短縮日課開始
- 12日 朝会(放送)
- 15日 児童自宅学習(成績会議)
- 19・20日 5年生オンライン学習
- 20日 懺悔会 終業式
- 21～23日 5年スキー学校

※ 3学期始業式 1月7日(土)



舌不燃

「ぜつふねん」と読みます。「舌は燃えずに残った」というのですから、言葉の重みを知るという意味です。

中国の南北朝時代、名翻訳家として有名な鳩摩羅什の遺した言葉です。

彼はキジ国、現ウイグル自治区の出身で、しかも、父がインド人であったことから、幼少の時にインドに留学して仏教の奥義をきわめました。その上、多くの外国語を理解し、さらには中国語もできるという才能の持ち主でした。生涯に三百巻余の経典を漢訳しました。

七十歳の時、病気にかかれ死を悟られますと、「私は凡夫の身で多くの経典を翻訳することになったが、もし私の翻訳に誤りがなかったとすれば、身を焼いた後にも“舌は焼けないであろう”」

このように遺言されました。確かに遺体を荼毘に付しても舌は残ったといえます。

現在ではたして自分の意見に対してどれだけの人が「舌不燃」の信念と自信を持ちえるでしょうか。

かつては「沈黙は金なり」と教わりましたが、この沈黙は何か何でもものを言うなということではなく、「発言には金の重さをもて」ということでしょう。

自分の意見をはっきりと表明することはすばらしいことですが、その場合に「舌不燃」の心をしっかりと根底にすえておかねばなりません。

ステキ みつけた!

1年生が生活科の学習で須和田公園に行ってきました。子どもたちは、一生懸命ドングリを拾ったり、きれいな落ち葉を探したりして秋を見つけました。帰りに須和田の丘支援学校のトイレをお借りしたところ、須和田の丘の先生が本校の1年生のために“シダローズ”や“からすうり”等をとっておいてくれました。1年生の廊下に飾り、秋を楽しみました。ありがとうございました。

